

公共調達適正化について(平成18年8月25日付財計第2017号)に基づく随意契約に係る情報の公表(物品・役務等)及び公益法人に対する支出の公表・点検の方針について(平成24年6月1日 行政改革実行本部決定)に基づく情報の公開

様式3-4

令和4年度契約

| 物品役務等の名称及び数量 | 契約担当者等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地 | 契約を締結した日 | 契約の相手方の商号又は名称及び住所 | 随意契約によることとした業務方法書又は会計規定等の根拠規定及び理由 | 予定価格 | 契約金額 | 落札率 | 再就職の役員の数 | 公益法人の場合 | | | 備考 |
|---|--|-----------|---|---|------|-----------|-----|----------|---------|---------------|---------|----|
| | | | | | | | | | 公益法人の区分 | 国認定、都道府県認定の区分 | 応札・応募者数 | |
| 海外業務請負:ブルキナファソ国立環境農業研究所(ブルキナファソ)における「ブルキナファソおよびクルヴェオゴ県における標本調査」 | 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 小山 修 茨城県つくば市大わし1-1 | 令和5年1月10日 | ブルキナファソ国立環境農業研究所(INERA) 社会経済ユニット 01 BP 476 Ouagadougou 01 Burkina Faso | <p>土壌保全技術の有効な普及を加速するため、対象国であるブルキナファソにおける行動経済学的手法を組み入れた新たな技術普及方法の有効性をランダム化比較試験により検証して有効な普及方法を提案することを目的としており、担当者が現地に出張し、予備調査、調査員トレーニングを行った上で実施する予定であったが、ブルキナファソの危険レベルが引き上げられたことにより出張できなくなった。</p> <p>カウンターパート機関であるブルキナファソ国立環境農業研究所(INERA)で、代表となる Sawadogo / Compaoré Eveline氏の研究グループは、本業務を適切に実施するために必要な社会経済学的な研究能力と経験を有しており、Web上で実施する予備調査と調査員のトレーニングに向けても協力を得て、調査員の選定や予備調査時の農家招へい等を実施するための準備と調整に当たってもらった。</p> <p>過去に実施した調査の対応状況からも、調査員の管理能力及び調査時に起こりうるトラブルへの対応力も高く、またINERAと当所はMOUを締結しており、このような調査業務への理解が深く、結果に対する信頼性も高い。MOUの締結により情報漏洩のリスクも回避した上で、調査を実施できる唯一の機関である。</p> <p>会計規程 第38条第1項第1号</p> | — | 3,272,225 | — | | | | | |
| 委託研究「生物的硝化抑制(BNI)能の異なるブラキアリア牧草を2年半栽培した後のトウモロコシにおける土壌硝化の分析(5-6作目)」 | 国立研究開発法人 国際農林水産業研究センター 理事長 小山 修 茨城県つくば市大わし1-1 | 令和5年1月30日 | 国際生物多様性センター及び国際熱帯農業研究センター(CIAT) Km 17 Recta Cali-Palmira CP 763537 Apartado Aéreo 6713, Cali, Colombia | <p>国際熱帯農業研究センター(CIAT)は、国際農業研究協議グループ(CGIAR)の傘下の研究機関であり、熱帯飼料作物であるブラキアリア牧草研究の中心的拠点である。国際農研とは、長年にわたりブラキアリア牧草での生物的硝化抑制研究に関し協力して研究を実施し、BNI国際コンソーシアムのメンバーとしても活動している実績がある。</p> <p>さらに、これまでの委託研究においても研究管理に高い能力を発揮し優れた成果を出しており、研究担当者は2019年に若手外国人農林水産研究者表彰(Japan Award)を受賞している。また、2年半ブラキアリア牧草を栽培した後のトウモロコシ作付への影響調査を4作連続して実施しており、研究目的を達成するためには本圃場での試験継続が必須である。以上により、CIAT以外に当該業務を実施できる機関はない。</p> <p>会計規程第38条第1項第1号</p> | — | 1,910,904 | — | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

※公益法人の区分において、「公財」は、「公益財団法人」、「公社」は「公益社団法人」、「特財」は、「特例財団法人」、「特社」は「特例社団法人」をいう。
(注)必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の変更を加えることその他所要の調整を加えることができる。